

9月14日

れい
礼

はい
拝

ま ね
招き の こと ば
言葉

か い か い い の
開 会 の 祈 り

し ゆ い の
主の祈り

てん われ ちち
天にまします我らの父よ

ねが
願わくは

み な
御名をあげめさせたまえ

つづ
(続く)

みくに き
御国を来たらせたまえ

みこころ てん
御心の天になるごとく

ち
地にもなさせたまえ

つづ
(続く)

われ にちよう かに
我らの日用の糧を

きよう あた
今日も与えたまえ

つづ
(続く)

われ つみ おか もの
我らに罪を犯す者を

われ ゆる
我らが赦すごとく

われ つみ ゆる
我らの罪をも赦したまえ

つづ
(続く)

われ ころ あ
我らを試みに遭わせず

あく すぐ いだ
悪より救い出したまえ

つづ
(続く)

くに ちから さか
国と力と栄えとは

かぎ なんじ
限りなく汝のものなればなり

アーメン

つ み こ く は く
罪の告白の

か ん こ く
勧告

つみ こくはく きとう
罪の告白の祈禱

ばんぶつ つくぬし
万物の造り主、

ひと
すべての人の

さばぬし かみ
裁き主であられる神よ。 (つづ
続く)

わたし

私たちは、あなたの

せい

いまし

したが

聖なる戒めに従わず、

うしな

ひつじ

失われた羊のように

み まえ

まよ

い

御前から迷い出で、

つづ
(続く)

おも こと ば おこな
思いと言葉と行いにおいて

つみ おか み いか
罪を犯し、あなたの御怒りを

まね
招いたことを

ふか かな
深く悲しんでおります。 つづ
(続 く)

あわ ^と 憐れみに富んでおられる ^{ちち} 父よ。

おか ^{つみ} 犯した罪を ^{にく} 憎み ^{かな} 悲しむ ^{わたし} 私たちに

あわ ^{そそ} 憐れみを注いでください。 ^{つづ} (続 く)

^{しゅ}
主イエス・キリストにおいて

^{わたし} 私たちを^{ゆる}赦し、^み御^{たま}霊によって、

^う生まれ^か変わらせ、

^み御^な名の^さ栄え^かのために

^い生きる^{もの}者とならせてください。(^{つづ}続 ^くく)

^{しゅ}主イエス・キリストの^み御^な名に

よって^{いの}お祈りいたします。

アーメン

つ み ゆ る
罪の赦しの

せ ん げ ん
宣言

し へん か
詩編歌 117

1. ^{せ かい}世界の民らよ ^{たみ}主を ^{しゆ}たたえまつれ。

われらに ^あたまひし ^{あい}愛とまこととは

^{おお}大いなればなり

ハレルヤ、ハレルヤ。 (おわり)

ぼつ かい き とう
牧会祈禱

こ せ っ き よ う
子 ども 説 教

つ み お か に ん げ ん
「 罪 を 犯 し た 人 間 」

そ う せ い き
創 世 記 3:1 ~ 19

カテキズム

とい さいしよ にんげん そうぞう とき
問19 最初に人間は、創造された時
のすばらしい 祝福の 状態にとどまり
ましたか。

こたえ
答

いいえ。アダムとエバは、

かみ ことば そむ
神さまの言葉に背き、

つみ おか
罪を犯しました。

とい つみ なに
問20 罪とは何ですか。

こたえ かみ ことば そむ
答 神さまの言葉に背くことです。

かみ ことば
神さまの言葉にひとつでも

したが
従わないならば、

わたし かみ み まえ つみびと
私 たちは神さまの御前に罪人です。

とい つみ おか にんげん
問21 罪を犯した人間は

どのようにになりましたか。

こたえ にんげん う
答 人間は生まれながら

あく
悪へとかたむく

つみびと
罪人になってしまいました。

かみ まじ うしな
神さまとの交わりを失い、

かみ そむ あゆ
神さまに背いて歩むようになり、

かみ いか う
神さまの怒りを受け、

し
ほろびの死にさだめられました。

創世記3章

15 「^{まえ}お前と^{おんな}女、^{まえ}お前の^し子孫と^{そん}
^{おんな}女^しの子孫^{そん}の^{あいだ}間に
^{てきい}わたしは^お敵意を置く。

かれ まえ あたま くだ
彼はお前の頭を砕き

まえ かれ くだ
お前は彼のかかとを砕く。」

かみ

神さまがわかるでしょ

1. ^{うつく}美しいこの^{そら}空を

^{あい}愛らしいこの^{はな}花を

^う浮かんでる^{しろ}白い^{くも}雲

^{かお}香りよき^{あおくさ}青草を

(つづき)

なが
じっと眺めるだけで

なが
ただ眺めているだけで

きみ
ほら 君もわかるでしょ

かみ
神さまがわかるでしょう

とき なみだ
2. ある時は 涙ぐみ

ひ ゆめ み
いつの日か夢に見た

こころ あい
心には愛もなく

す とき
過ごしてる時がある

(つづき)

いの とき
じつと祈った時も

いの とき
ただ祈っていた時も

きみ
ほら 君もわかるでしょ

かみ
神さまがわかるでしょう

3. すばらしいこの^{とき}時を

^{しあわ}幸 ^ひせ ^びなこの日々を

なんとなくうれしくて

^{さん}び ^{とき}讚美する時がある

(つづき)

そつと^{うた}歌った^{とき}時も

ただ^{うた}歌っている^{とき}時も

ほら ^{きみ}君もわかるでしょ

^{かみ}神さまがわかるでしょう

(おわり)

ウエストミンスター^{しんこうこくはく}信仰告白

だい しょう よ おこな 第16章 善い行いについて

かみ いまし ふくじゅう 2. 神の戒めに服従してなされる

よ おこな しん い
このような善い行いは、真の、生きた

しんこう みの しょう こ
信仰の実りであり、証拠である。

よ おこな しんじや
そして善い 行いによって信者は、

かんしや あらわ
かれらの感謝を表し、かれらの

かくしん つよ きょうだい
確信を強め、かれらの兄弟たちを

た あ ふくいん こうてきこくはく
建て上げ、福音の公的告白を

うつく ^{かざ} てきたいしや くち ^{ふう}
美しく飾り、敵対者の口を封じ、

^{かみ} えいこう ^き
神に栄光を帰す。

^{しんじや}
信者は、そうするように

イエス・キリストにおいて造られた、
^{つく}

かみ さくひん
神の作品だからである。

しんじや きよ
かくして信者は、清さにいたる

み むす もくてき
実を結んで、目的である

えいえん いのち え
永遠の命を得ることができる。

(おわり)

使徒言行録3章^{しょう}

1 ペトロとヨハネが、午後三時の祈りの^{ご ごさんじ いの}
時に^{とき}神殿^{しんでん}に上^{のぼ}って行^いった。

2 すると、生^うまれながら

足の不自由^{あし ふじゆう}な男^{おとこ}が運^{はこ}ばれて来^きた。

しんでん けいだい はい ひと ほどこ こ
神殿の境内に入る人に 施しを乞うため、

まいにち うつく もん しんでん もん
毎日「美しい門」という神殿の門の

お
そばに置いてもらっていたのである。

かれ けいだい
:3 彼はペトロとヨハネが境内に

はい み ほどこ こ
入ろうとするのを見て、施しを乞うた。

4 ペトロはヨハネと一いっしょ緒かれに彼をじつと見て、

「わたしたちを見みなさい」と言いった。

5 その男おとこが、何なにかもらえろと思おもって

二人ふたりを見みつめていて、

6 ペトロは言いった。

「わたしには^{きん}金や^{ぎん}銀はないが、
^も持っているものをあげよう。

ナザレの^{ひと}人イエス・キリストの^な名に
よって^た立ち^あ上がり、^{ある}歩きなさい。」

7 ^{みぎ}て ^と ^{かれ} ^た
そして、右手を取って彼を立ち

^あ
上がらせた。すると、たちまち、

^{おとこ} ^{あし}
その男は足やくるぶしがしっかりして、

^{おど} ^あ ^た ^{ある}
8 躍り上がって立ち、歩きだした。

^{ある} ^{まわ} ^{おど}
そして、歩き回ったり躍ったりして

かみ　さんび　ふたり　いっしょ
神を賛美し、二人と一緒に

けいだい　はい　い
境内に入って行った。

みんしゅう　みな　かれ　ある　まわ
:9 民衆は皆、彼が歩き回り、

かみ　さんび　み
神を賛美しているのを見た。

かれ しんでん うつく もん
10 彼らは、それが神殿の「美しい門」の

すわ ほどこ こ もの
そばに座って 施しを乞うていた者だと

き み お
気づき、その身に起こったことに

われ わす おどろ
我を忘れるほど驚いた。

(おわり)

280. 我が身の望みは

1. 我が身の望みは

ただ主にかかれり

主イエスのほかには

よるべき方なし。 (つづく)

(おりがえし)

^わ我が^{きみ}君イエスこそ、

^{すく}救いの^{いわ}岩なれ

^{すく}救いの^{いわ}岩なれ。

かぜ はげ
2. 風いと激しく

なみ た やみ よ
波立つ闇夜も、

いかり
みもとに碇を

お やす
下ろして安らわん。 (つづく)

(おりがえし)

^わ我が^{きみ}君イエスこそ、

^{すく}救いの^{いわ}岩なれ

^{すく}救いの^{いわ}岩なれ。

3. この世の望みの

消え行く時にも、

心は動かじ

御誓い頼めば

(つづく)

(おりがえし)

^わ我が^{きみ}君イエスこそ、

^{すく}救いの^{いわ}岩なれ

^{すく}救いの^{いわ}岩なれ。

4. ^み見^ぬ世^よに^{うつ}移りて

まみゆるその^{とき}時、

^{しゅ}主^ぎの義をまといて

^み御^{まえ}前に^た立たまし。

(つづく)

(おりがえし)

わ きみ
我が君イエスこそ、

すく いわ
救いの岩なれ

すく いわ
救いの岩なれ。

アーメン

せつ
説

きょう
教

しや も
「キリスト者が持っているもの」

辻 幸宏牧師

生まれながら足の不自由な男

- ・運ばれて来て、置かれていた

- ・福祉のない時代

- ・物乞いによってしか生きることができない

「わたしたちを見なさい」

- 二人を見つめる男：何かもらえる？
 - 「金や銀はない」 → 失望？
- 「持っているものをあげよう」 ???

直接、合うことは大切

- ・今、インターネット、SNSの時代

→ 離れていても繋がっている？

- ・息を感じられる距離にいることは大切

インターネット、SNS

- ・情報の垂れ流し
- ・インパクトが求められる(最初の1秒)
- ・見た目が大切で、内容は二の次に

百聞は一見しかず

- ・目を合わせることで、顔の表情、態度
 - 心すら見ることが出来る
 - 知っているから、離れていても通じる
 - ・^そ ^ご齟齬を回避できる

教会において

- ・主なる神と会うこと
 - ・兄弟姉妹と合うこと・交わり
- 疎かにしてはならない

男が求めていたもの

- ・今日食べるための施し

- ・究極の願い：歩けること、働けること

→ 神と出会うことにより
究極的な救いが与えられる

神との出会い、信仰

- ・その場限りの満足を与えるものではない
- ・インパクトがあれば良いものではない
- ・福音の本質：罪の赦し、永遠の祝福

救いはイエス・キリストによる

- ・御言葉の説教、聖霊の働き

→ 使徒：癒やしにより

- ・信じれば、癒やしも行える？

一人ひとりに与えられる賜物

- ・牧師・長老・執事・奏楽者・CS担当者
- ・掃除奉仕者・礼拝出席・祈る者…

・社会、学び舎に仕える

→ ローマ12:4~5 各自は互いに部分

すべてのことはキリストの恵み

- ・「有神的人生観世界観」に行きよ！
- ・何をするにしても主が証しされる
- ・「神の栄光のため」(I コリント10:31)

神を讃美する者とされる

- ・ペトロの癒やしにより、男は、神を讃美した。
- ・生きて働く主なる神と出会った

キリスト者として生きるとは

- ・人の目に留まることも必要、しかし
- ・私たち：神の救い、神の愛が示された
- ・奉仕、働きをもって、主を証しする者

しんこう たびじ
270. 信仰こそ旅路を

しんこう たびじ みちび つえ
1. 信仰こそ旅路を 導く杖

よわ つよ ちから
弱きを強むる 力なれや

こころいさ たび つづ
心 勇ましく 旅を続けゆかん

よ あや おそ
この世の危うき 恐るべしや 1/4

わ しゆ かしら あお み
2. 我が主を頭と 仰ぎ見れば

ちから いずみ わ つ
力の泉は 湧きて尽きず

めぐ ふか しゆ み きず
恵み深き主の 御傷みまつれば

わず のこ ひ ふたた も
僅かに残る火 再び燃ゆ

しゅ みあと たど ゆ
3. 主イエスの御跡を 辿り行けば

やまじ やす みち
けわしき山路も 安けき道

まよ つか
いかで迷うべき などて疲るべき

みかみ ちか ゆ
ますぐに御神へ 近づき行かん

4. ^{しんこう}信仰をぞ ^わ我が ^み身の ^{つえ}杖と ^{たの}頼まん

^{つるぎ}するどき 剣も ^{くら}比ぶべしや

^よ代々の ^よ ^{せいと}聖徒らを ^{つよ}強く ^い生かしたる

^み御 ^{たま}霊を ^{われ}我にも ^{あた}与えたまえ

アーメン

けん
献

きん
金

かんしや ささ もの
感謝の献げ物

にんい きようせい
任意であり、強制ではありません

ほう
報

こく
告

本日の予定

- ・グループ別祈祷会（礼拝後）
- ・信徒修養会 丁合作業
- ・夕拝（pm5:00～）

今週の予定

- 祈りと学びの会（祈祷会）午前・夜
休会
- 会堂掃除 第3週担当者

次主日の予定

・礼拝 am10:30 司式:吉村弘司長老

説教:高本博純引退教師 奏楽:今村恵美香姉

「義人は信仰によって生きる」

※謝恩日献金(2回まわし)

・教会学校 (礼拝後)

・夕拝 (休会)

541. ^{しょう}頌 ^{えい}栄

^{ちち}父、^{みこ}御子、みたまの

おおみかみに、

ときわにたえせず、

みさかえあれ、みさかえあれ

アーメン

しゅく
祝

ふく
福

ア-メン さんしょう 三唱